

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
設定日	2018年4月27日
信託期間	無期限
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む先進国の国債に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。投資魅力の高い残存年数の国債を選択し安定性を重視した運用を行います。実質組入外貨建資産については、投資環境に応じて対円での為替ヘッジを行い、一部または全部の為替リスクの軽減を図ります。為替を一部組み入れることで、金利変動による損益を相殺し、収益の安定化を図ります。市場環境の変化に応じて為替ポジションを機動的に調整しリスクをコントロールします。ポートフォリオ全体のリスクにターゲット（年率2%程度）を設定し運用を行います。
主要運用対象	大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型） ・先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド ・先進国の国債を主要投資対象とします。
投資制限	大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型） ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年4月15日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

運用報告書（全体版）

第2期

決算日 2020年4月15日

大和住銀 先進国国債ファンド （リスク抑制型）

（愛称） 未来のコツ

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにありがとうございます。お礼申し上げます。

さて「大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）（愛称：未来のコツ）」は、去る2020年4月15日に第2期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込金	期中 騰落率			
(設定日) 2018年4月27日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 500
第1期(2019年4月15日)	10,230	0	2.3	65.7	—	18,956
第2期(2020年4月15日)	10,357	0	1.2	32.8	—	37,999

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率
		騰落率		
(期首) 2019年4月15日	円 10,230	% —	% 65.7	% —
4月末	10,222	△0.1	62.9	—
5月末	10,257	0.3	73.5	—
6月末	10,378	1.4	59.0	—
7月末	10,418	1.8	61.1	—
8月末	10,543	3.1	55.8	—
9月末	10,474	2.4	53.1	—
10月末	10,435	2.0	56.6	—
11月末	10,418	1.8	61.0	—
12月末	10,387	1.5	66.0	—
2020年1月末	10,460	2.2	69.9	—
2月末	10,527	2.9	66.3	—
3月末	10,390	1.6	29.7	—
(期末) 2020年4月15日	10,357	1.2	32.8	—

*騰落率は期首比です。

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

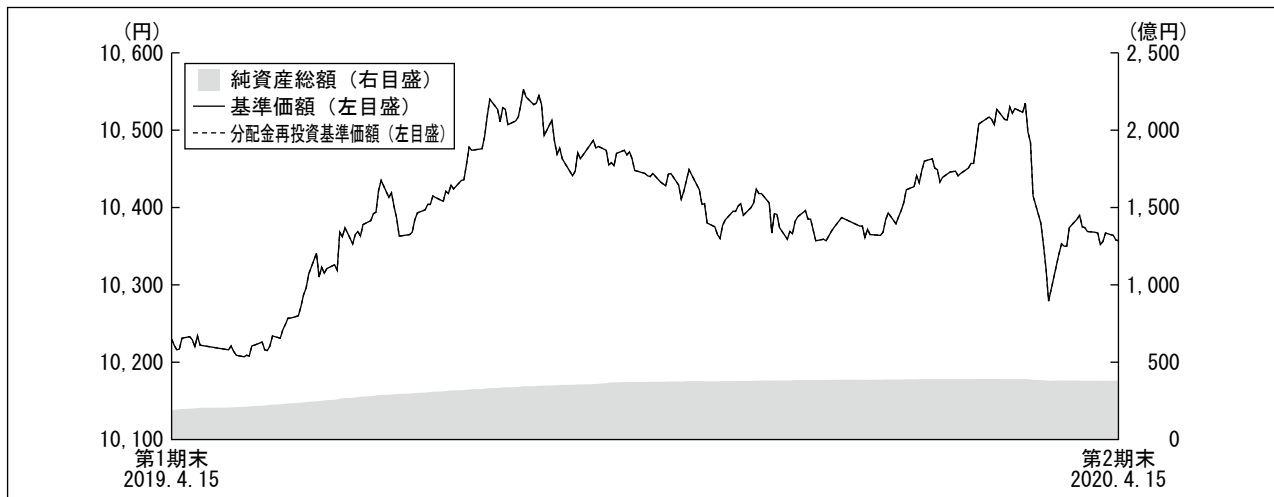
*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第2期首：10,230円

第2期末：10,357円（既払分配金 0円）

騰落率：+1.2%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、先進国国債（リスク抑制型）マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む先進国の国債に投資を行いました。

（上昇要因）

債券は、フランス国債・日本国債・米国債がプラスとなり、特にフランス国債が大きくプラスとなったことが要因となりました。

（下落要因）

為替は、全般的にマイナスとなったことが要因となりました。

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

【投資環境】

債券市場は、米国・ユーロ圏を中心に総じて上昇（利回りは低下）となりました。期の前半は米中通商協議が難航したことや、FRB（米連邦準備制度理事会）の金融緩和姿勢が強まり10年ぶりに利下げを実施したことなどもあり、債券市場は上昇（利回りは低下）しました。その後、米中通商協議において部分的な合意がなされ緊張が緩和したことや、英国のEU（欧州連合）離脱問題において懸念されていた合意なしでの離脱が回避されたことなどを背景に債券市場は下落（利回りは上昇）する場面もありましたが、期末にかけては新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に流動性の低下などを伴って相場が乱高下する中、FRBが緊急利下げや資産購入を実施する等、各国が緩和的な金融政策を強めたこともあり、債券市場は上昇（利回りは低下）しました。

為替市場は期の前半は米中貿易戦争の激化を背景に円高が進行しましたが、その後、米中間の緊張が緩和したことや英国がEUとの合意なしでのEU離脱を回避したことを受けて、円安基調となりました。しかし、期末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて相場が乱高下する中、質への逃避の動きから円高が進行しました。

【ポートフォリオ】

■大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

主要投資対象である先進国国債（リスク抑制型）マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は32.8%としました。

■先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

当期の騰落率は、+1.8%となりました。

債券のリスク量とポートフォリオ全体のリスク量を概ね2%でコントロールしました。中でも、米中貿易摩擦により中央銀行の金融緩和姿勢が強まったことや、期末に向けてはコロナ禍により不透明感が高まったため、総じて金利低下傾向にあった債券への配分を高め維持しつつ、為替の配分を局面に応じて抑制的に配分したことが大幅なドローダウン回避に繋がりました。また、期末にかけての金融市場混乱時には、リーマンショックを大きく上回る債券ボラティリティ（価格変動性）の上昇を受けて、迅速にリスク量を引き下げてキャッシュ比率を高めたことも、安定を追求する当プロダクトの特徴を示す結果となりました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

【分配金】

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第2期	
	2019年4月16日 ～2020年4月15日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		356

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む先進国の国債に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

引き続き、債券に関しては、ポートフォリオ全体のキャリー収益を高め、安定した収益の積み上げを狙います。為替部分に関しては、債券部分との逆相関関係の状況を勘案し、最適なリスクバランスとなるようにリスク量を調節することでポートフォリオ全体のリスクをコントロールし、より安定した収益を目指します。

足元では逆相関が弱まった状態にあるものの、リスク量は概ねターゲット近辺で維持しています。今後についても、リスク量をターゲットリスク近辺で維持することを基本方針とするものの、逆相関関係やボラティリティ、経済指標や地政学リスクなどを注視しつつ、リスク量の機動的な調整を行います。

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年4月16日～2020年4月15日		
	金額	比率	
信託報酬	55円	0.524%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,409円です。
（投信会社）	(28)	(0.273)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(23)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	56	0.536	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

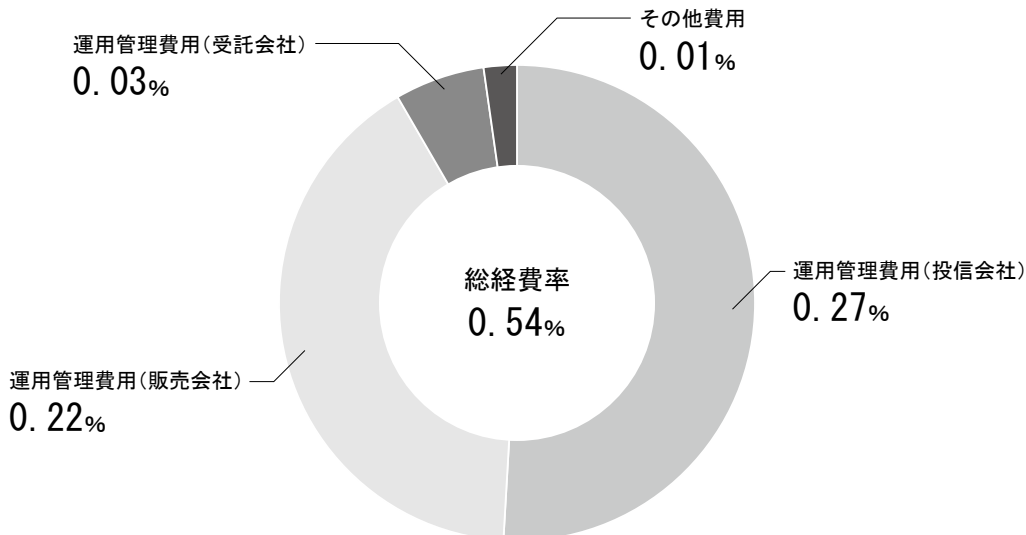
なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

参考情報 総経費率（年率換算）



*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は0.54%です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2019年4月16日から2020年4月15日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド	千口 22,852,259	千円 23,879,367	千口 4,926,626	千円 5,169,352

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

利害関係人との取引状況等

(2019年4月16日から2020年4月15日まで)

■利害関係人との取引状況

<大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）>

当期における利害関係人との取引はありません。

<先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド>

区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公社債	百万円 56,035	百万円 809	% 1.4	百万円 55,840	百万円 2,637	% 4.7

*平均保有割合100.0%

*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

組入資産の明細

2020年4月15日現在

■親投資信託残高

	期首（前期末）	当期		期末
	口数	口数	評価額	評価額
先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド	18,478,705 千口	36,404,338 千口	38,108,061 千円	38,108,061 千円

*先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド全体の受益権口数は、36,404,338千口です。

投資信託財産の構成

2020年4月15日現在

項目	当期	期末
	評価額	比率
先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド	38,108,061 千円	99.9 %
コール・ローン等、その他	27,970	0.1
投資信託財産総額	38,136,031	100.0

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=107.18円、1 イギリス・ポンド=135.22円、1 ユーロ=117.73円

*先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

当期末における外貨建資産（7,229,950千円）の投資信託財産総額（38,837,823千円）に対する比率 18.6%

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	38,136,031,525円
先進国国債(リスク抑制型)マザーファンド(評価額)	38,108,061,219
未 収 入 金	27,970,306
(B) 負 債	136,328,435
未 払 解 約 金	32,977,309
未 払 信 託 報 酬	101,341,907
そ の 他 未 払 費 用	2,009,219
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	37,999,703,090
元 本	36,690,118,125
次 期 繰 越 損 益 金	1,309,584,965
(D) 受 益 権 総 口 数	36,690,118,125口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10.357円

*元本状況

期首元本額	18,530,866,265円
期中追加設定元本額	23,015,084,348円
期中一部解約元本額	4,855,832,488円

損益の状況

自2019年4月16日
至2020年4月15日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	338,627,412円
売 買 益	396,929,744
売 買 損	△ 58,302,332
(B) 信 託 報 酬 等	△ 178,430,528
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	160,196,884
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	291,988,217
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	857,399,864
(配 当 等 相 当 額)	(423,384,987)
(売 買 損 益 相 当 額)	(434,014,877)
(F) 計 (C+D+E)	1,309,584,965
次 期 繰 越 損 益 金(F)	1,309,584,965
追 加 信 託 差 損 益 金	857,399,864
(配 当 等 相 当 額)	(438,572,231)
(売 買 損 益 相 当 額)	(418,827,633)
分 配 準 備 積 立 金	452,185,101

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	119,434,307円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	40,762,577
(C) 収 益 調 整 金	857,399,864
(D) 分 配 準 備 積 立 金	291,988,217
分 配 可 能 額 (A+B+C+D)	1,309,584,965
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(356.93)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(0)

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

運用報告書

決算日：2020年4月15日

（第2期：2019年4月16日～2020年4月15日）

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	先進国の国債に投資するとともに、市場環境に応じて為替取引を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	先進国の国債を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

設定以来の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	債券先 物率	純資産 総額
	円	騰落率			
(設定日) 2018年4月27日	10,000	—	—	—	百万円 500
第1期(2019年4月15日)	10,283	2.8	65.5	—	19,000
第2期(2020年4月15日)	10,468	1.8	32.7	—	38,109

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先 物率
	円	騰落率		
(期首) 2019年4月15日	10,283	—	65.5	—
4月末	10,277	△0.1	62.8	—
5月末	10,317	0.3	73.4	—
6月末	10,445	1.6	58.9	—
7月末	10,490	2.0	60.9	—
8月末	10,621	3.3	55.7	—
9月末	10,556	2.7	53.0	—
10月末	10,521	2.3	56.5	—
11月末	10,508	2.2	61.0	—
12月末	10,482	1.9	65.9	—
2020年1月末	10,560	2.7	69.8	—
2月末	10,632	3.4	66.2	—
3月末	10,499	2.1	29.6	—
(期末) 2020年4月15日	10,468	1.8	32.7	—

*騰落率は期首比です。

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：10,283円

期末：10,468円

騰落率：+1.8%

【基準価額の主な変動要因】

（上昇要因）

債券は、フランス国債・日本国債・米国債がプラスとなり、特にフランス国債が大きくプラスとなったことが要因となりました。

（下落要因）

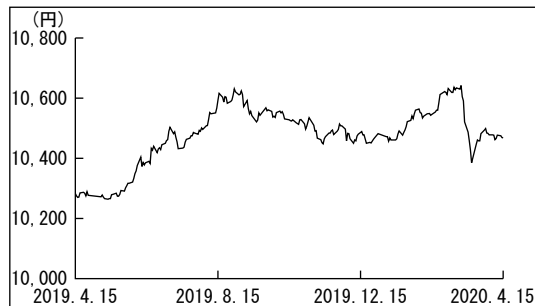
為替は、一般的にマイナスとなったことが要因となりました。

【投資環境】

債券市場は、米国・ユーロ圏を中心に総じて上昇（利回りは低下）となりました。期の前半は米中通商協議が難航したことや、FRB（米連邦準備制度理事会）の金融緩和姿勢が強まり10年ぶりに利下げを実施したことなどもあり、債券市場は上昇（利回りは低下）しました。その後、米中通商協議において部分的な合意がなされ緊張が緩和したことや、英国のEU（欧州連合）離脱問題において懸念されていた合意なしでの離脱が回避されたことなどを背景に債券市場は下落（利回りは上昇）する場面もありましたが、期末にかけては新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に流動性の低下などを伴って相場が乱高下する中、FRBが緊急利下げや資産購入を実施する等、各国が緩和的な金融政策を強めたこともあり、債券市場は上昇（利回りは低下）しました。

為替市場は期の前半は米中貿易戦争の激化を背景に円高が進行しましたが、その後、米中間の緊張が緩和したことや英国がEUとの合意なしでのEU離脱を回避したことを受けて、円安基調となりました。しかし、期末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて相場が乱高下する中、質への逃避の動きから円高が進行しました。

基準価額の推移



先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+1.8%となりました。

債券のリスク量とポートフォリオ全体のリスク量を概ね2%でコントロールしました。その中でも、米中貿易摩擦により中央銀行の金融緩和姿勢が強まったことや、期末に向けてはコロナ禍により不透明感が高まったため、総じて金利低下傾向にあった債券への配分を高め維持しつつ、為替の配分を局面に応じて抑制的に配分したことが大幅なドローダウン回避に繋がりました。また、期末にかけての金融市場混乱時には、リーマンショックを大きく上回る債券ボラティリティ（価格変動性）の上昇を受けて、迅速にリスク量を引き下げてキャッシュ比率を高めたことも、安定を追求する当プロダクトの特徴を示す結果となりました。

今後の運用方針

引き続き、債券に関しては、ポートフォリオ全体のキャリー収益を高め、安定した収益の積み上げを狙います。為替部分に関しては、債券部分との逆相関関係の状況を勘案し、最適なリスクバランスとなるようにリスク量を調節することでポートフォリオ全体のリスクをコントロールし、より安定した収益を目指します。

足元では逆相関が弱まった状態にあるものの、リスク量は概ねターゲット近辺で維持しています。今後についても、リスク量をターゲットリスク近辺で維持することを基本方針とするものの、逆相関関係やボラティリティ、経済指標や地政学リスクなどを注視しつつ、リスク量の機動的な調整を行います。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年4月16日～2020年4月15日		
	金額	比率	
その他費用	1円	0.006%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	1	0.006	
期中の平均基準価額は10,492円です。			

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 円未満は四捨五入しています。

先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

売買及び取引の状況

(2019年4月16日から2020年4月15日まで)

■公社債

			買付額	売付額	
国	内	国債証券	千円 19,762,037	千円 17,731,772	
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 49,277	千アメリカ・ドル 60,294	
	イギリス	国債証券	千イギリス・ポンド 14,824	千イギリス・ポンド 13,581	
	ユーロ	フランス	国債証券	千ユーロ 224,799	千ユーロ 232,502
		ドイツ	国債証券	13,710	14,014

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

主要な売買銘柄

(2019年4月16日から2020年4月15日まで)

■公社債

		当期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
FRANCE OAT. 0.75 11/25/28	9,141,674	152 20年国債	8,539,948
FRANCE OAT. 2.5 05/25/30	7,911,990	FRANCE OAT. 0.75 11/25/28	8,466,349
354 10年国債	6,612,912	FRANCE OAT. 2.5 05/25/30	5,843,319
152 20年国債	6,514,233	354 10年国債	4,679,548
165 20年国債	4,431,365	FRANCE OAT. 2.75 10/25/27	3,670,496
FRANCE OAT. 3.5 04/25/26	3,663,335	FRANCE OAT. 3.5 04/25/26	3,613,750
US TREASURY N/B 3 05/15/42	2,986,162	165 20年国債	3,256,671
US TREASURY N/B 3.125 11/15/28	2,298,408	FRANCE OAT. 4.75 04/25/35	2,814,948
FRANCE OAT. 4.75 04/25/35	1,947,340	US TREASURY N/B 3.125 11/15/28	2,610,436
FRANCE OAT. 1 05/25/27	1,869,006	US TREASURY N/B 3 05/15/42	2,537,603

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

利害関係人との取引状況等

(2019年4月16日から2020年4月15日まで)

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 56,035	百万円 809	% 1.4	百万円 55,840	百万円 2,637	% 4.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

組入資産の明細

2020年4月15日現在

■公社債

A 債券種類別開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

区 分	当			期			末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率				
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満		
国 債 証 券	千円 4,995,000 (2,820,000)	千円 5,196,182 (2,849,146)	% 13.6 (7.5)	% — (—)	% 13.6 (7.5)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	
合 計	4,995,000 (2,820,000)	5,196,182 (2,849,146)	13.6 (7.5)	— (—)	13.6 (7.5)	— (—)	— (—)	— (—)	

* () 内は、非上場債で内書き

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

(B) 外国（外貨建）公社債

区 分	当 期					末		
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 4,920	千アメリカ・ドル 6,436	千円 689,819	% 1.8	% -	% 1.8	% -	% -
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 1,990	千イギリス・ポンド 3,089	417,713	1.1	-	1.1	-	-
ユーロ	千ユーロ フランス 45,870	千ユーロ 52,441	6,173,993	16.2	-	16.2	-	-
	小 計 45,870	52,441	6,173,993	16.2	-	16.2	-	-
合 計	-	-	7,281,526	19.1	-	19.1	-	-

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

B 個別銘柄開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
354 10年国債	0.1000	1,860,000	1,880,794	2029/03/20	
357 10年国債	0.1000	960,000	968,352	2029/12/20	
152 20年国債	1.2000	995,000	1,132,638	2035/03/20	
165 20年国債	0.5000	1,180,000	1,214,397	2038/06/20	
合 計	-	4,995,000	5,196,182	-	

先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

(B) 外国（外貨建）公社債

銘柄	種類	利率	当 期 額面金額	期 末 評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
				千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ・ドル…アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US TREASURY N/B	国債証券	2.0000	500	571	61,272	2050/02/15
US TREASURY N/B	国債証券	3.0000	4,420	5,864	628,547	2042/05/15
通貨小計	—	—	4,920	6,436	689,819	—
(イギリス・ポンド…イギリス)		%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
UK GILT	国債証券	4.5000	1,990	3,089	417,713	2034/09/07
通貨小計	—	—	1,990	3,089	417,713	—
(ユーロ…フランス)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FRANCE OAT.	国債証券	2.5000	21,150	26,251	3,090,624	2030/05/25
FRANCE OAT.	国債証券	0.2500	3,700	3,790	446,216	2026/11/25
FRANCE OAT.	国債証券	1.0000	4,400	4,735	557,541	2027/05/25
FRANCE OAT.	国債証券	0.7500	16,620	17,664	2,079,610	2028/11/25
ユーロ通貨小計	—	—	45,870	52,441	6,173,993	—
合計	—	—	—	—	7,281,526	—

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

投資信託財産の構成

2020年4月15日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	12,477,708	32.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	26,360,115	67.9
投 資 信 託 財 産 総 額	38,837,823	100.0

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=107.18円、1 イギリス・ポンド=135.22円、1 ユーロ=117.73円

*当期末における外貨建資産（7,229,950千円）の投資信託財産総額（38,837,823千円）に対する比率 18.6%

先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	45,470,720,632円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	26,177,660,210
公 社 債(評価額)	12,477,708,197
未 収 入 金	6,739,048,623
未 収 利 息	29,978,231
前 払 費 用	46,325,371
(B) 負 債	7,360,972,365
未 払 金	7,333,002,059
未 払 解 約 金	27,970,306
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	38,109,748,267
元 本	36,404,338,192
次 期 繰 越 損 益 金	1,705,410,075
(D) 受 益 権 総 口 数	36,404,338,192口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,468円

* 元本状況

期首元本額	18,478,705,545円
期中追加設定元本額	22,852,259,271円
期中一部解約元本額	4,926,626,624円

* 元本の内訳

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型） 36,404,338,192円

損益の状況

自2019年4月16日
至2020年4月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	252,073,379円
受 取 利 息	261,117,360
支 払 利 息	△ 9,043,981
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	148,769,110
売 買 益	2,427,195,593
売 買 損	△2,278,426,483
(C) そ の 他 費 用	△ 2,054,723
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	398,787,766
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	522,240,443
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 242,726,054
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,027,107,920
(H) 計 (D+E+F+G)	1,705,410,075
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,705,410,075

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。